

プロジェクト

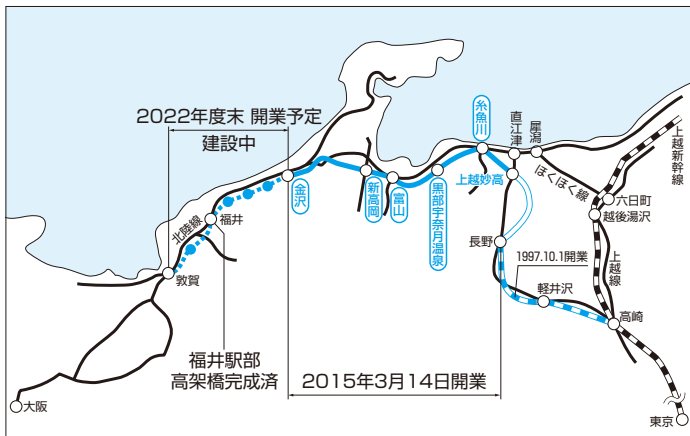
■北陸新幹線プロジェクト

北陸新幹線は、全国新幹線鉄道整備法に基づき、東京～大阪までの整備計画が定められている整備新幹線です。1997年10月1日に高崎から長野までの117kmが、そして2015年3月14日に長野から金沢までの228kmが開業しました(当社の営業区間は上越妙高から金沢間です)。

金沢から敦賀間の125km(工事区間：白山車両基地～敦賀間114km)については、2012年6月に用地・土木構造物関係の工事実施計画の認可が得られ、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が建設主体として2022年度末の完成をめざし、工事を進めています。

なお、開業後は当社が同区間を運営することになります。

●北陸新幹線の整備状況



■近畿エリア関連プロジェクト

近畿エリアでは、安全・安定輸送や利便性の向上、線区価値の向上などを目的にプロジェクトを進めています。

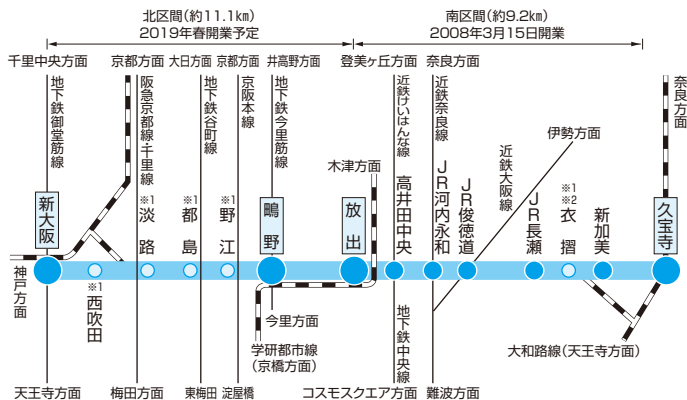
●おおさか東線

おおさか東線は、新大阪駅から久宝寺駅に至る路線で、大阪外環状鉄道(株)が事業主体となって城東貨物線の施設や用地を活用しながら旅客線とする整備が進められています。

南区間(放出～久宝寺間)は2008年3月に開業し、現在、北区間(新大阪～放出間)において2019年春の開業をめざし、工事を進めています。

当路線が完成すると、大阪外縁部において都心部から放射線状に広がる路線を相互に連絡することとなり、鉄道の広域ネットワークの形成に大きく貢献するものと考えています。

工事延長	約20.3km(新大阪駅～久宝寺駅)	
	新線建設区間:新大阪駅～淡路駅(仮称)	約3.2km
	複線化区間:淡路駅(仮称)～久宝寺駅	約17.1km
電化区間:新大阪駅～久宝寺駅	約20.3km	
設置駅数	14駅(新大阪、久宝寺駅などの既設駅、衣摺駅(仮称)を含む)	



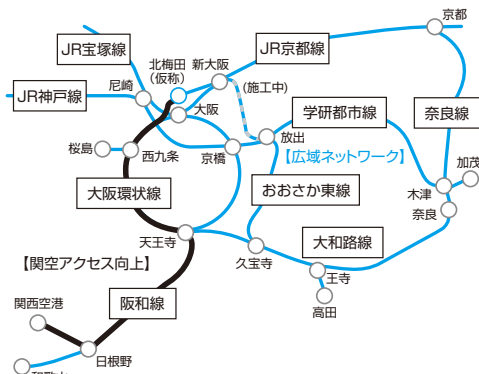
※1 「西吹田」「淡路」「都島」「野江」「衣摺」の駅名は仮称です。 ■ おおさか東線 ■ 駅名 JR既設駅 —●— JR線
 ※2 2018年春開業予定です。

●東海道線支線地下化・新駅設置

大阪駅北地区のうめきたエリアでは、周辺地域との一体的なまちづくりが進められています。その西側を縦断している東海道線支線の梅田信号場(旧梅田貨物駅)では、まちづくりと一体となって約1.7kmの地下化工事が計画されています。地下化により、踏切の除却および交差道路の安全性向上が図られます。

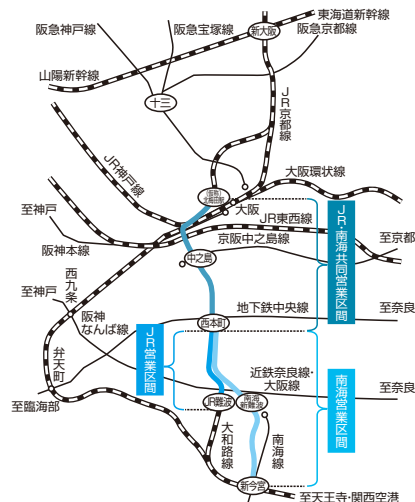
あわせて、大阪駅に近接して新駅(仮称:北梅田)を設置することで、関西国際空港へのアクセスおよび広域ネットワークの強化に大きく貢献することが期待されています。

2023年春の地下化と新駅開業をめざして工事を進めています。



●なにわ筋線

新大阪駅から大阪駅北側の(仮称)北梅田駅を経て、大阪市内を南北に走る道路「なにわ筋」の地下を通り、難波付近までを結ぶ新路線の構想です。新大阪～(仮称)北梅田駅間については現在、当社が東海道本線の支線(貨物線)の地下化工事を進めており、新たに整備する区間は(仮称)北梅田駅～JR難波および南海新今宮駅間です。

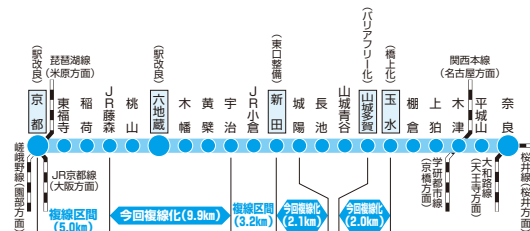


●奈良線第2期複線化事業

奈良線はこれまで1期複線化(京都～JR藤森、宇治～新田間)や新駅設置などの輸送改善により着実にご利用が増加してきましたが、単線区間の存在による定時性の確保などの課題も残されています。

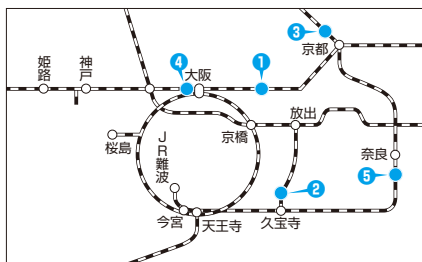
2期複線化事業では、沿線自治体のご協力を得ながら、「JR藤森～宇治」、「新田～城陽」、「山城多賀～玉水」の計14.0kmの複線化を行います。今回の複線化で、ご利用者の多い「京都～城陽」間は全て複線となり、奈良線の更なる利便性向上、安全・安定輸送を実現できるものと考えています。

また、複線化事業にあわせて、駅ホームの安全性向上などを目的とした京都駅と六地蔵駅の駅改良や玉水駅の橋上化、山城多賀駅のバリアフリー化、踏切保安度向上のための3次元レーザーレーダ式障害物検知装置、踏切警報時間制御装置(通称:賢い踏切)の整備など、線区全体で安全性を高める取り組みも行います。複線化事業は、2023年春の開業を予定しています。



●新駅設置

当社では、駅を核とした地域のまちづくりに寄与するとともに、お客様の利用しやすい輸送機関となるよう、新駅設置を進めています。



線名	駅間	設備概要	開業予定
① JR京都線	摂津富田 茨木	高架下駅舎島式ホーム1面	2018年春
② おおさか東線	JR長瀬 新加美	高架下駅舎相対式ホーム2面	2018年春
③ 嵯峨野線	京都 丹波口	高架下駅舎相対式ホーム2面	2019年春
④ 東海道支線	新大阪 福島	地下駅舎島式ホーム2面	2023年春
⑤ 大和路線	奈良 郡山	高架下駅舎相対式ホーム2面	未定



① JR京都線摂津富田・茨木間新駅
【デザインコンセプト】
「街と街、人と人、時(歴史)と時(未来)をつなぐ新たな駅」



③ 嵯峨野線京都・丹波口間新駅
【デザインコンセプト】
「梅小路公園および京都市西部地区の玄関口として、鉄道を意識させ、地域と連携する」

●東岸和田駅付近高架化

阪和線東岸和田駅付近では、約2.1kmの高架化を進めています。この工事が完成すると、7箇所の踏切が除却できるため、安全性が向上し、交通渋滞の解消が図られるとともに、駅周辺の交流の活性化が図られます。

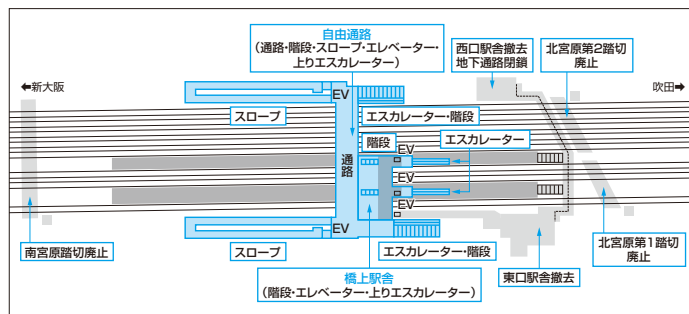
また、エスカレーターやエレベーターを設置することで、より一層お客様にご利用いただきやすい駅になります。

2015年2月に和歌山方面行き線路を高架化し、2017年10月には天王寺方面行き線路もあわせて、全線高架化が完了する予定です。



●東淀川駅橋上化

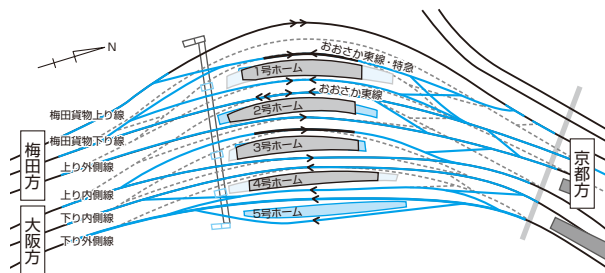
JR京都線東淀川駅前後に位置し、当社管内で遮断時間が最も長い南宮原踏切、北宮原踏切を廃止し、東淀川駅を橋上化します。大阪市との共同事業として、踏切の代替となるバリアフリーに対応した自由通路(幅員6メートル)を整備します。また、既存の駅構内ご線橋を活用し、自由通路に接続する橋上駅舎(当社事業)を整備することで、快適にご利用いただきやすい駅になります。2018年末頃に施設の供用開始にあわせて、踏切の廃止を予定しています。



●新大阪駅改良

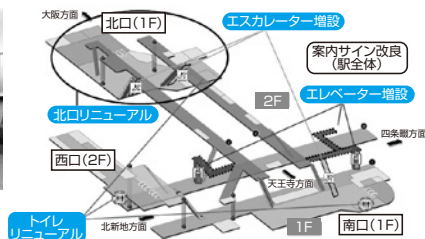
新大阪駅では、利便性の高い快適な駅をめざし、構内配線変更、在来線のコンコースや出改札のリニューアル工事を進めています。

おおさか東線北区間工事に伴う構内配線変更の工事では、東側のスペースに1面2線の5号ホームを新設し、順次線路切換とホーム休止を繰り返すことにより、施工箇所を西側に切り換えていきます。最終的には一番西側のホームにおおさか東線の列車が発着することになります。ホーム休止時には、ホームの段差解消、エスカレーター新設、美化など、改良工事を行っています。



●京橋駅改良工事

京橋駅では、築35年を迎えた北口駅舎の商業施設やお客様トイレを含めた全体的なリニューアル、エレベーター・エスカレーターの増設によって、お客様の利便性を向上させるべく、2017年8月から改良工事を進めています。



■広島エリア関連プロジェクト

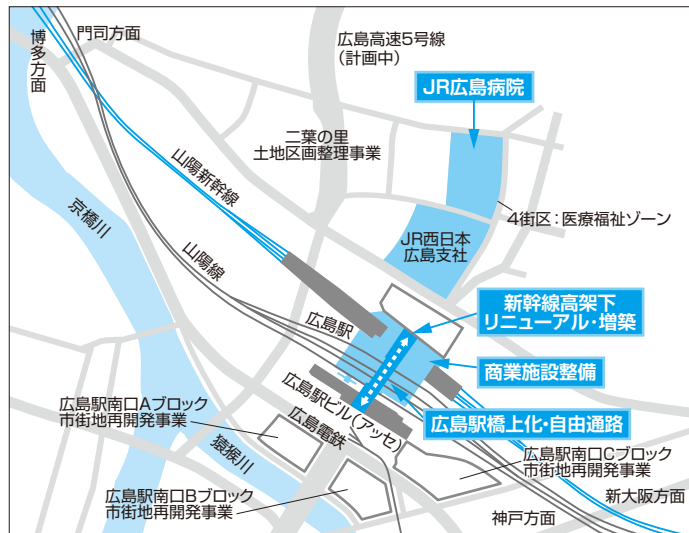
広島エリアでは、まちづくりと一体となった新駅設置や駅改良、また、広島駅周辺の拠点性向上を目的としたプロジェクトを行っています。

●広島駅橋上化・広島鉄道病院新築移転

広島駅では、周辺の土地区画整理事業などあわせ、駅の橋上化、南北自由通路の設置および店舗の増床などの一体的整備を行っています。

2017年5月には橋上駅舎や南北自由通路の一部を先行して使用開始しました。なお、2017年10月には南北自由通路全面使用開始と線路上空部店舗の開業を予定しています。

また、引き続き地域の中核病院として、より質の高い医療を提供すべく、2016年4月に医療法人JR広島病院を開院しました。



■大阪環状線改造プロジェクト

当社グループでは、大阪環状線のイメージアップとお客様満足度向上を図るため、「安全快適な駅づくり（駅美装・改良）」「駅構内および高架下の開発・リニューアル」「車両新製」「地域や他交通事業者との連携」を4つの重点施策とし、さまざまな施策を展開しています。大阪環状線を「行ってみたい」「乗ってみたい」線区に改造し、地域とともに、大阪を元気にします。



大阪環状線改造プロジェクト

●安全快適な駅づくり（駅美装・改良）

大阪環状線全駅の美装・改良を進めています（内容は駅ごとに異なります）。

森ノ宮駅と桃谷駅では、駅全体のリニューアルを行いました。



森ノ宮駅

●トイレ改良

駅美装・改良の中でもトイレ改良を重点項目と位置づけ、集中改良を進めています（2017年8月末時点で17駅22箇所改良済）。改良にあたっては、「暗い・臭い・汚い」の解消を基本とし、社会環境の変化もふまえた快適なトイレ空間をめざしています。

大便器の洋式化・温水洗浄便座化をはじめ、換気機能強化、照明LED化、便座クリーナーや手洗い用石鹸などの設置、ベビーチェアの設置、入口サイン改良などを進めています。



リニューアルした多目的トイレ

●駅構内および高架下の開発・リニューアル

大阪環状線の駅構内や高架下などの魅力向上をめざして、駅美装・改良に合わせ、駅やエリアごとの特性、お客様ニーズを捉えた商業開発を推進しています。

森ノ宮駅高架下の「ピエラ森ノ宮」（2013年）に続き、玉造駅に「ピエラ玉造」（2014年）、桃谷駅に「ピエラ桃谷」（2016年）を開業しました。



大阪環状線で長く親しまれてきたオレンジ色の103系車両をモチーフにしたデザインの「ピエラ玉造」

●車両新製

2016年度から、初めての大阪環状線・JRゆめ咲線の専用新型車両「323系」を順次投入しています。323系の開発にあたっては、輸送品質の確保と先進的なサービスによる快適性の向上と大阪環状線のイメージアップを図るため、「安全・安心の向上」「機器の信頼性向上（安全輸送）」「情報提供の充実」「人に優しい快適な車内空間」をコンセプトとして定めています。

●車両仕様



形式	323系
代表的編成	8両
編成総定員	1,197人
編成座席定員	372人
最高速度	100km/h
扉枚数	片側3扉

車両の概要
安全性とサービス水準を高めた大阪環状線・JRゆめ咲線用車両。2016年度から2018年度までに168両を投入予定。

●地域や他交通事業者との連携

沿線地域も含め、線区として価値を向上するため、大阪市・区や大阪環状線と結節する他交通事業者とも連携を強化しています。

●他交通事業者との連携

大阪市交通局と連携して案内表示を分かりやすく改善します。また、大規模災害などの異常時対応においても、連携を強化していきます。

※ その他の鉄道事業者とも、案内表示の連携などを検討していきます。

●まちの美観促進・魅力発信

地域の皆様と連携し、沿線地域の一部となっている高架下などの鉄道施設の美化によるまちの美観促進に取り組んでいます。



福島駅での高架下アート

●発車メロディ

大阪環状線では、お客様や地域の皆様に大阪環状線やその沿線のまちに愛着を感じていただけるよう、「その駅（まち）らしさ」「大阪環状線らしさ」「大阪らしさ」をテーマに、駅毎に異なる発車メロディを採用しています。

（敬称略）

大阪駅	やっば好きやねん／やしきたかじん	天満駅	花火／aiko
福島駅	夢想花／円広志	桜ノ宮駅	さくらんぼ／大塚 愛
野田駅	一週間／ロシア民謡	京橋駅	ゆかいな牧場（大阪うまいもの歌）／アメリカ民謡
西九条駅	アメリカンナイトロール／アメリカ民謡	大阪城公園駅	法線員／オリジナル
弁天町駅	線路は続くよどこまでも／アメリカ民謡	森ノ宮駅	森のくまさん／アメリカ民謡
大正駅	ていんさくゆ花／沖縄民謡	玉造駅	メリーさんのひつじ／アメリカ民謡
芦原橋駅	祭／芦原橋太鼓集団「怒」作曲	鶴橋駅	ヨーデル食べ放題／桂雀三郎withまんぶくブラザーズ
今宮駅	大黒様／文部省唱歌	桃谷駅	酒と泪と男と女／河島 英五
新今宮駅	交響曲第9番「新世界より」／ドヴォルザーク作曲	寺田町駅	Life Goes On／韻シスト
天王寺駅	あの鐘を鳴らすのはあなた／和田 アキ子		

■新たな寝台列車 ～TWILIGHT EXPRESS 瑞風～

京都や松江、出雲、宮島などの豊かな歴史・文化。日本海や大山、瀬戸内海の多島美などの美しい自然。西日本には、日本の原風景とも呼べる場所がたくさんあります。ホテルのような上質さと心休まる懐かしさを感じる列車で、この国の素晴らしさを再発見していただく。美しい車窓の眺め、一流の食の匠による料理、洗練された車両、そして沿線の魅力…。TWILIGHT EXPRESS 瑞風は、ここでしか味わえない特別な鉄道の旅をご提供いたします。

(ウェブサイト) <http://twilightexpress-mizukaze.jp/>



●ネーミングとロゴマーク

瑞風とは「みずみずしい風」のことであり、吉兆を表すめでたい風という意味も併せ持ちます。「瑞穂の国」と呼ばれる美しい日本に、新しいトワイライトエクスプレスという風を運んでくる、そんな情景をイメージしました。

ロゴマークは、MIZUKAZEの“M”を山並みに見立て、吹き抜けていく風をトワイライトエクスプレスの象徴である天使で表現しました。



●車両

●編成

ザ・スイート1両、ロイヤルツイン・ロイヤルシングル1両、ロイヤルツイン4両、食堂車1両、ラウンジカー1両、展望車2両(編成両端)からなる10両編成です。



●動力方式

ハイブリッド方式(ディーゼル発電機で発電した電力とバッテリーアシストによるモータ駆動)です。

●客室

3クラスの客室(ザ・スイート、ロイヤルツイン、ロイヤルシングル)を設け、定員は最大34名です。

●展望車

空まで望むことができる開放的な展望室から雄大な景色や星空といった車窓をお楽しみいただけるとともに、展望デッキでは沿線の風を感じていただけます。



展望デッキを含むエクステリア

●世界有数の客室

世界的にも希少なザ・スイートの客室は1両1室の広いスペースとし、プライベートバルコニーやバスタブ付きの本格的なバスルームを設置しています。

●日本での建築、工業デザイン、食事の第一人者が監修

京都迎賓館をはじめホテルや迎賓施設に携わってきた「浦一也」氏、新幹線をはじめ鉄道車両のデザインを手がけてきた「福田哲夫」氏や、食の権威で和洋問わず食の造詣が深い「門上武司」氏に監修していただきました。

●運行開始

2017年6月17日(土)

●日程

1泊2日の片道タイプと2泊3日の周遊タイプをご用意し、1日1回立ち寄り観光を実施します。

●始発・終着駅

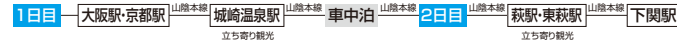
大阪・京都、下関の各駅から始まり、下関、京都・大阪(一部は新大阪)に至ります。

●運行ルート・コース

山陰本線経由と山陽本線経由、計5コース

●山陰コース 1泊2日 片道タイプ

(下り)

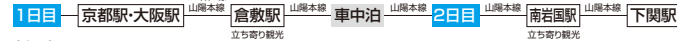


(上り)



●山陽コース 1泊2日 片道タイプ

(下り)



(上り)



●山陽・山陰コース 2泊3日 周遊タイプ

